伊実日和

令和4年3月24日17号
伊万里実業高等学校

商業キャンパス
商業科主任
金崎　洋介

「ちゃんと自分で考えなさい！！」

みなさんは、阿部寛（あべひろし）さんという俳優さんを知っていますか？少し前でいうとドラマ「下町ロケット」や現在放送中のドラマ「ＤＣＵ」に主役で出演されています。今でこそ阿部さんは日本を代表する素晴らしい俳優さんですが、私が高校生の頃は、俳優というよりファッション雑誌専属の超人気モデルとして活躍されていたのが印象的です。とてもさわやかで輝いていました！今では多彩な役をこなし、その存在感は絶大で、私が最も好きな俳優の一人です。

その阿部さんの作品で私が印象に残っているのが、ドラマ「ドラゴン桜」です。見た人もいると思いますが、昨年４月からシリーズ第２弾の放送がスタートし、ファン待望１６年ぶりの復活で大変盛り上がったようです。私は、毎回楽しみに見ていたのですが、途中１話分を見逃してしまって諦めて見なくなっていました。そしてすっかり忘れていたころ、昨年末の特番で一挙放送！年末の自宅の大掃除を早く終わらせて、まさにテレビに釘付けでした。私がこのドラマに惹きつけられた一番の理由は、それぞれ問題を抱えながらも東大合格を目指す数名の生徒たちに向けた阿部さん演じる桜木先生の強烈な言葉です。東大合格のための指導とはいきませんが、曲がりなりにも教師をしている私にとっては「確かに！」「そうだ！」と共感する場面が沢山ありました。その中から選んだ３つを紹介します。

敗者はよく考えもせず、「たまたま間違っただけだ」と言って片付けたり、人のせいにして自分は悪くなかったと思おうとする。それに対して勝者はミスした状況を深く自己分析し、改善できる方法を徹底的に考え、次に活かす。

やみくもに暗記し、曖昧な知識を増やし、やった気になったやつが一番危ねぇんだ！

自分の将来はまわりが決めるんじゃない。世の中の流れに乗るもんでもない。自分の人生は自分でつくる。人生はどうなるかじゃなく、どうするかだ！

どうですか？熱いでしょう？知らない人にも雰囲気は何となく伝わりましたか？私は、活字を読むだけでもその時のシーンを思い出します。こんな感じで熱く心に突き刺すような言葉が次々と投入され、人一倍単純な私は毎回感動するわけです！！

このドラマには東大受験を背景に人の生き方についていろんなメッセージが込められています。このドラマが伝えたいことを私なりに導き出したキーワードは、

「ちゃんと自分で考えなさい！！」

です。

今、学校現場でも「思考力、判断力、表現力」「主体的に取り組む力」「継続して創造する力」などの必要性が叫ばれています。ちょっとピンとこない言葉かもしれませんが、つまり、ドラゴン桜が訴えかける「人任せではなく、自分で考えよう！」ということです。自分では何も考えずに他人に言われるままに行動することが決して自分のためにならないことを私は知っています。何を隠そう私もその一人でしたから。

商業科の教員である私は「商業を学ぶ」とはどういうことか考えることがあります。

「商業を学ぶ」とは、世の中の問題を解決するため、社会に役立つ商品やサービスを世に送り出すために一生懸命に考える力を身に付けることだと思います。

そして、この**「考える」**ときに役に立つのが、商業科目で身に付けた知識やスキルだと思います。

本校で商業科目を履修している生徒のみなさんは、簿記・情報処理・マーケティングなどを学んでいますよね。でも、これらはあくまでもビジネスで成果を上げるために必要な道具であって、アイディア出しや意思決定など**「考える」**時に活用するためのものです。つまり、何かを解決するときに考えようとしなければ、商業科目で学んだことは使いものになりませんし、知識やスキル自体も考えながら習得しなければ、活用すべきときに使えないということになります（もちろん、ほかの教科にも言えることですが）。ときどき残念に思うことは、教科書の用語や計算式を暗記するだけ、検定試験の勉強では意味を理解しようとせず、先生の指示のまま何となくパターンで解いている、など検定試験合格のためだけの味気ない勉強をしている人を見たときです。もちろん、暗記することも大事なことですし、検定試験に合格することは努力の証として評価されるべきものだと思います。しかし、そこにはそれ以上のものはありません。果たして、意味を理解せず只々用語や計算式を暗記したり、検定試験に合格した人が**「考える」**を重視する現代のビジネスで生き抜く力を身に付けたといえるでしょうか？でも中には、私の授業が終わった後の休み時間に、「先ほどの解き方とは違った方法で解いたんですがこれでもいいでしょうか？」「何となく理解できたのですが、きちんと意味を知りたいです」などと質問をしてくる生徒がいます。そんな時は、よく考えているんだなぁととても嬉しくなりますし、こちらも俄然やる気が出ます。

商業科目の内容には、学び方次第でビジネスで使えるエッセンスがいっぱい詰まっています。どうせ勉強のために長時間過ごすのであれば、理解する楽しみを味わいながら学習したいですよね。勉強途中の私にとっての自戒の念でもあります。商業科目を履修している皆さん、今後も**「考える」**を意識しながら商業科目の学習に勤しんでください。そして、検定試験の「意味ある合格」を手に入れることを期待しています！！

最後に、高校受験を控えている中学生へのメッセージを桜木先生風に表現するなら

『商業を学びたかったら、つべこべ言わず「伊実」へ行け！！』

といった感じでしょうか。

ちなみに阿部寛さんの少し前のヒット作に「テルマエ・ロマエ」という作品があります。コメディタッチで面白い作品です。見てない人は興味があったら見てみてください。これこそストーリーに任せて何も考えずに笑えます。悩んでたり疲れた時に癒してくれると思いますよ！！

学科紹介

商業科

『実践的なスキルを身に着ける場所』

簿記の知識は、将来仕事をする上で重要なスキルとなるよ。本校の簿記の授業には、日本商工会議所主催の簿記検定試験対策の学習ができるよ。今年度の日商簿記合格率は９６％。君も税理士や会計士に挑戦してみよう。

『分かる』と『できる』の両立

社会で有用な人材となるために、ＩＴパスポート試験をはじめとする専門的な知識の習得ができるよ。伊万里市には企業誘致で他県よりＩＴ企業が多数参入してきているよ。技術を向上させて、地元で活躍しよう。

第69回伊万里商業高等学校
第1回伊万里実業高等学校
卒業証書授与式

令和4年3月1日に卒業証書授与式が行われました。今年度は、伊万里商業高校定時制4名と伊万里実業高校全日制164名・定時制3名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。これからの皆さんのご活躍を期待しています。

伊万里商業高等学校 閉校式

校旗引継ぎ（伊実生）

校旗引継ぎ（伊商生）

はじめの太鼓

結びの太鼓

校旗引継ぎ

生徒代表のことば

令和4年3月1日に閉校式が行われました。江頭瑠七さんが卒業生を代表して「伊万里商業高校は122年の歴史に幕を閉じます。私たちにとっては寂しく悲しいことですが、この学校で過ごしたかけがえのない日々は色褪せることなく、いつまでも私たちの心に残り続けます」と述べました。そして、伝統の校旗が伊万里実業の後輩たちに手渡され、122年の歴史に幕を下ろしました。

『今が、スタート』
やらない理由は、いつも自分の中にある。
「やる」と決めたら、実行あるのみ。
その時、状況は必ず進展するよ。

行事予定

3月
- 15火 一般選抜合格発表
- 16水 合格者登校日　生徒臨時休業
- 24木 修了式・退任式

4月
- 6水 始業式・新任式
- 7木 課題テスト
- 8金 入学式
- 15金 波戸岬宿泊研修（1年）～16日
- 18月 1年生代休
- 19火 教育相談週間～28日